

# 年頭のあいさつ



庄原市長  
滝口 季彦

## 安全で安心して 快適に暮らせるまちづくりへ

**新** 年あけましておめでとうございます。皆様方には、輝かしい新春を健やかに迎えのことと、心からお慶び申し上げます。  
また、日ごろは市政に対しご理解とご協力を賜り、改めて厚くお礼申し上げます。

さて、昨年を振り返りますと、4月の口蹄疫対策、7月の集中豪雨、記録的な猛暑による農作物の被害など、災厄の年でありました。特に7月16日の豪雨は、かつて経験したことのないゲリラ的な集中豪雨であり、1人の尊い命が奪われ、28棟におよぶ家屋の全

半壊、河川・道路・農地などに甚大な被害が発生し、市民の皆さんの心の中にもその傷跡を残すこととなりました。亡くなられた方のご冥福をお祈りするとともに、被災された多くの方々

域全体の活性化につなげてまいります。本年も、「庄原市長期総合計画」に掲げる「げんき」と「やすらぎ」のさとやま文化都市の創造に向け、「庄原市長期総合計画・後期実施計画」に計上された各種施策・事業を計画的に実施するとともに、少子高齢化社会に対応するための子育て支援施策や高齢者施策の充実、安全で安心して快適に暮らせる地域づくりへの取り組みなど、直面する課題に着実に対応してまいります。

市といたしましては、被災者の方々

庄原市の発展のため、市民の皆さんには、より一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。また、この一年が市民の皆さんにとりまして幸多い年となりますことを心からお祈り申し上げ、新年のごあいさつといたします。



庄原市議会議長  
竹内 光義

## 負託と期待に応える 議会を目指して

**あ** けましておめでとうございます。市民の皆様には、希望に満ちた新春をお迎えのことと、市議会を代表し、心からお慶び申し上げます。

口の見えない景気の低迷が続いており、このことは私たちの生活に大きく影響しているところであります。このような状況の中で、昨年の7月16日、庄原市を襲った未曾有の集中豪雨による災害は、穏やかな農村地帯の生活をあつという間に押し流してしま

平成17年3月に1市6町が合併し、庄原市が誕生して以来、まもなく6年が経過しようとしていますが、一体感の醸成の中で、合併当初、旧市町の間にあつた壁も取り除かれているように感じております。

国内外におきましては、なかなか出

議長就任以来、「成長する議会をスローガンに掲げ、議会活動のあり方、議員の資質向上のための方策、市民の皆様とともに歩む議会とするための方策について、議会運営委員会に諮問し、議会改革に向け、積極的に取り組みを進めてまいります。

また、昨年3月定例会からは、押しボタン式投票採決を導入し、議員個人